

1 平成28年中の火災概況

(1) 火災件数について

本市における平成28年中の火災件数は121件で、前年と比べ27件増加しました。

(2) 損害額について

損害額は1億2,686万1千円で、前年と比べ約4,061万円8千円増加しました。

(3) 死傷者について

死者は3人で、前年と比べ1人減少し、負傷者は18人で、5人減少しました。

死者の発生した火災の種別は、建物火災が2件、船舶火災が1件でした。

(4) 出火原因について

火災の発生を原因別にみると、「放火」35件（放火の疑いを含む。）が最も多く、次いで、「たばこ」16件、「こんろ」9件（うち天ぷら油6件、グリル1件）の順でした。

(5) 住宅用火災警報器について

住宅火災（併用住宅、共同住宅を含む。）は39件で、そのうち住宅用火災警報器の設置が確認できた件数は7件でした。

また、住宅用火災警報器を設置していたことで大きな火災にならなかった奏功事例が2件ありました。

2 火災発生概況

区分		年別		平成 28 年		平成 27 年		増 減	
火 災 件 数				121 件 (2)		94 件 (0)		+27 件 (+2)	
損 害 額				126,861 千円		86,243 千円		+40,618 千円	
火 災 種 別	建 物			66 件 (0)		64 件 (0)		+2 件 (±0)	
	林 野			1 件 (0)		0 件 (0)		+1 件 (±0)	
	車 両	自 動 車	28 件 (0)	28 件 (0)	4 件 (0)	4 件 (0)	+24 件 (±0)	+24 件 (±0)	
		鉄 道		0 件 (0)		0 件 (0)		±0 件 (±0)	
	船 舶			2 件 (0)		0 件 (0)		+2 件 (±0)	
	航 空 機			0 件 (0)		0 件 (0)		±0 件 (±0)	
	そ の 他 の			24 件 (2)		26 件 (0)		-2 件 (+2)	
焼 損 棟 数	合 計			86 棟		75 棟		+11 棟	
	全 焼			14 棟		6 棟		+8 棟	
	半 焼			4 棟		4 棟		±0 棟	
	部 分 焼			24 棟		25 棟		-1 棟	
	ぼ や			44 棟		40 棟		+4 棟	
建 物 焼 損 床 面 積				3,040 m ²		1,139 m ²		+1,901 m ²	
建 物 焼 損 表 面 積				71 m ²		71 m ²		±0 m ²	
林 野 焼 損 面 積				4 a		0 a		+4 a	
人 的 死 者			3 人		4 人		-1 人		
被 害 負 傷 者			18 人		23 人		-5 人		
り 災 世 帯 数	合 計			64 世帯		57 世帯		+7 世帯	
	全 損			9 世帯		6 世帯		+3 世帯	
	半 損			4 世帯		5 世帯		-1 世帯	
	小 損			51 世帯		46 世帯		+5 世帯	
り 災 人 員				128 人		123 人		+5 人	
1 日 平 均	出 火 件 数			0.33 件		0.26 件		+0.07 件	
	損 害 額			347 千円		236 千円		+111 千円	
	建 物 焼 損 床 面 積			8.31 m ²		3.12 m ²		+5.19 m ²	
火災1件当たり平均損害額				1,048 千円		917 千円		+131 千円	
建物火災1件当たり焼損床面積				46 m ²		18 m ²		+28 m ²	
出火率(人口1万人当たり)				3.34 件		2.60 件		+0.74 件	

※ ()内は爆発件数

9 原因別火災発生状況

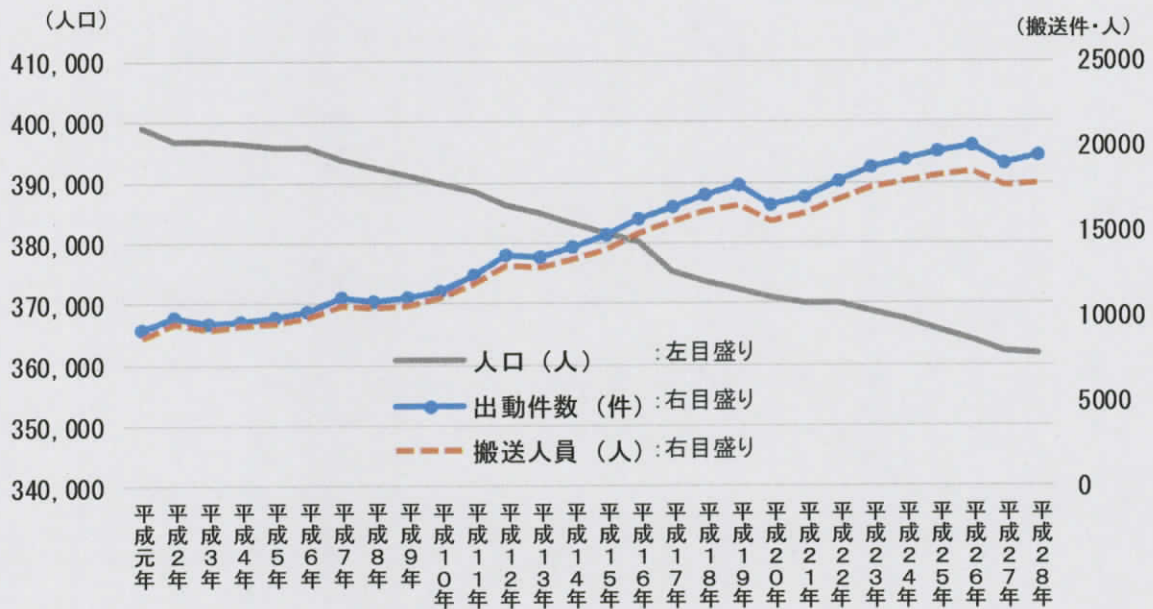
原因別 \ 月別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	121	4	10	17	6	10	2	19	9	22	7	8	7
たばこ	16		2	4	3	1	1	3	1			1	
こんろ	9			2		1		2	2	2			
こんろのうち天ぷら	6			2				2	2				
こんろのうちグリル	1									1			
かまど	0												
風呂かまど	0												
炉	0												
焼却炉	0												
ストーブ	2	1										1	
こたつ	0												
ボイラー	2	1				1							
煙突・煙道	0												
排気管	6		2	1		1		1					1
電気機器	2									1		1	
電気装置	4		1					3					
電灯・電話等の配線	3				1			1		1			
内燃機関	0												
配線器具	5			2	1						1		1
火あそび	2	1											1
マッチ・ライター	1												1
たき火	6			1			1	2	1				1
溶接機・切断機	3				1					2			
灯火	1					1							
衝突の火花	2		1							1			
取灰	0												
火入れ	0												
放火	34	1	1	3		3		5	2	15	2	2	
放火の疑い	1					1							
その他	17		2	3				2	2		3	3	2
不明・調査中	5		1	1		1			1		1		

I 救急出動概況

1 救急出動件数

平成28年中の救急出動件数は、前年（平成27年）に比べ377件増の19,417件、また、搬送人員は148人増の17,851人でした。

1日平均53.2件の救急出動で、和歌山市民20人に一人が搬送されたこととなります。



※ 人口は、和歌山市のホームページから（12月現在）

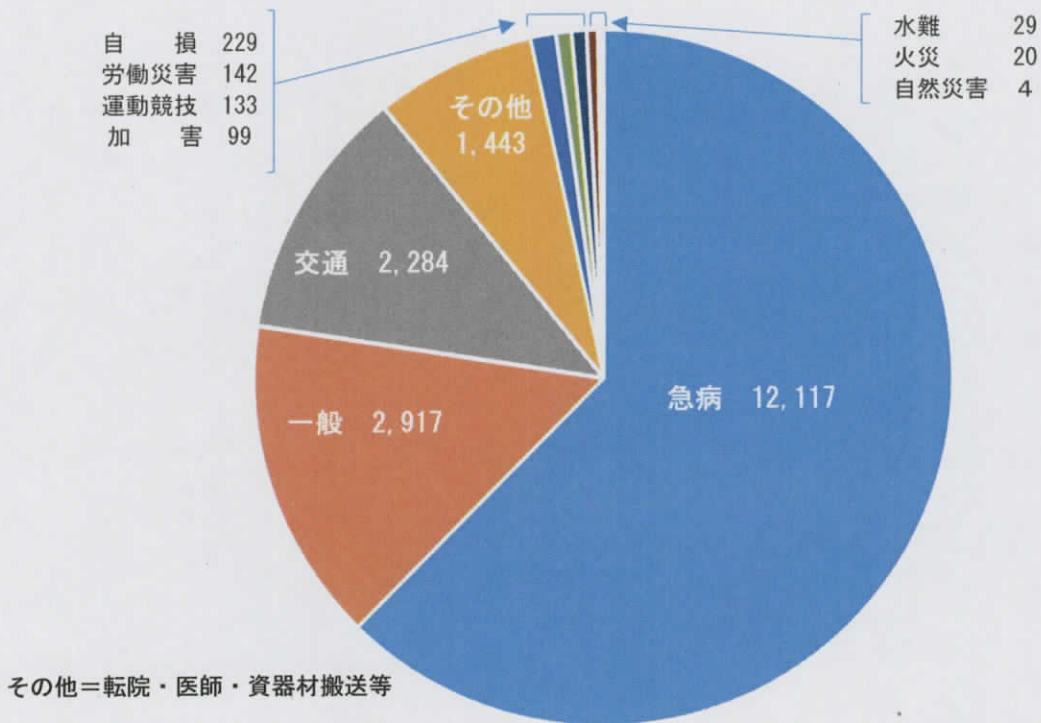
年 別	出動件数	搬送人員	年 別	出動件数	搬送人員
平成元年	9,173	8,726	平成15年	14,767	13,963
平成2年	9,890	9,514	平成16年	15,695	14,863
平成3年	9,596	9,214	平成17年	16,413	15,536
平成4年	9,705	9,407	平成18年	17,159	16,182
平成5年	9,891	9,614	平成19年	17,662	16,574
平成6年	10,292	9,949	平成20年	16,539	15,563
平成7年	11,066	10,600	平成21年	17,029	16,016
平成8年	10,904	10,503	平成22年	17,962	16,834
平成9年	11,126	10,653	平成23年	18,814	17,631
平成10年	11,509	11,049	平成24年	19,260	17,888
平成11年	12,427	11,931	平成25年	19,724	18,307
平成12年	13,563	13,011	平成26年	20,091	18,518
平成13年	13,436	12,827	平成27年	19,040	17,703
平成14年	14,010	13,322	平成28年	19,417	17,851

2 事故別件数及び傷病者の年齢

救急出動全体の62.4%が「急病」での出動となっており、続いて「一般負傷」「交通事故」の順となり、この3種別で、救急出動の89.2%を占めています。

昭和38年（1963年）に救急業務が法制化された後、和歌山市において、平成26年に初めて「一般負傷」の出動が「交通事故」の出動を上回りましたが、今年も同様でした。このことは、本市だけではなく、全国的な傾向となっています。

また、搬送者を年齢区分で分けてみると65歳以上の高齢者の割合が、57.7%と半数以上を占めています。



平成28年 事故別出動件数

	0~10歳	11~20歳	21~60歳	61歳以上
平成8年 搬送者数 10503人	7.3%	9.8%	46.5%	36.4%
平成18年 搬送者数 16182人	少年	成人	44.4%	高齢者(65歳以上) 45.8%
平成27年 搬送者数 17703人	少年	成人	35.2%	高齢者(65歳以上) 57.0%
平成28年 搬送者数 17851人	少年	成人	34.3%	高齢者(65歳以上) 57.7%

※平成8年は、統計の集計区分が現在と違います

※新生児・乳児 5.2%、少年 4.6% (平成18年)

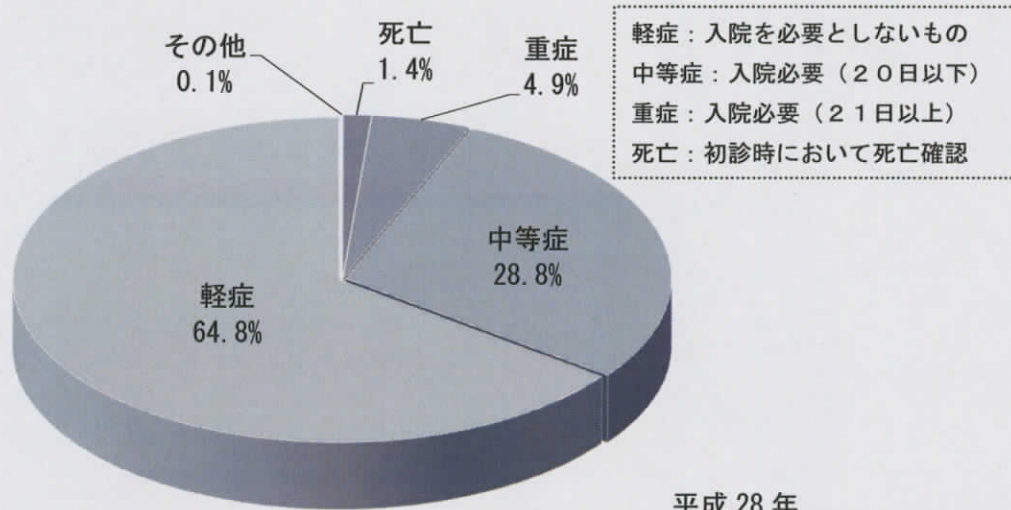
※新生児・乳児 4.3%、少年 3.5% (平成27年)

※新生児・乳児 4.4%、少年 3.6% (平成28年)

年齢別傷病者の割合（前年・10・20年前比較）

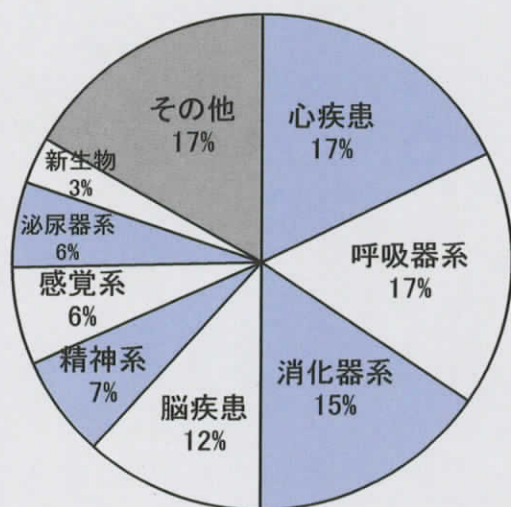
3 傷病者の状況

搬送した傷病者を程度別に分類すると軽症者が、全体の64.8%を占めています。

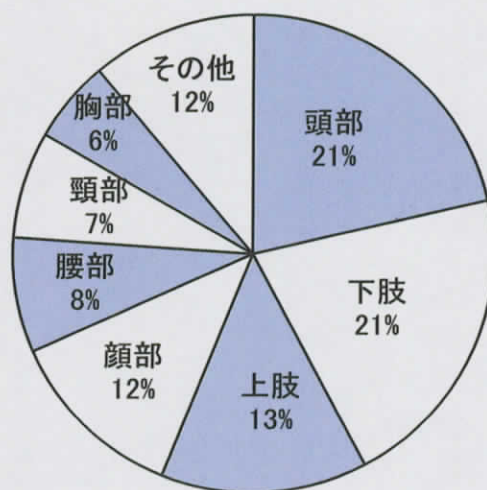


【傷病程度別搬送人員分布】

搬送した傷病者の傷病名を疾患（急病等）、外傷（交通事故等のケガ）別に分けると疾患別では、心疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、脳疾患の順となっており、一方、負傷した部位別では、頭部、下肢、上肢、顔部の順となっています。（疾患別では、症状や徴候等診断名不明確を除いています。）



疾患別割合



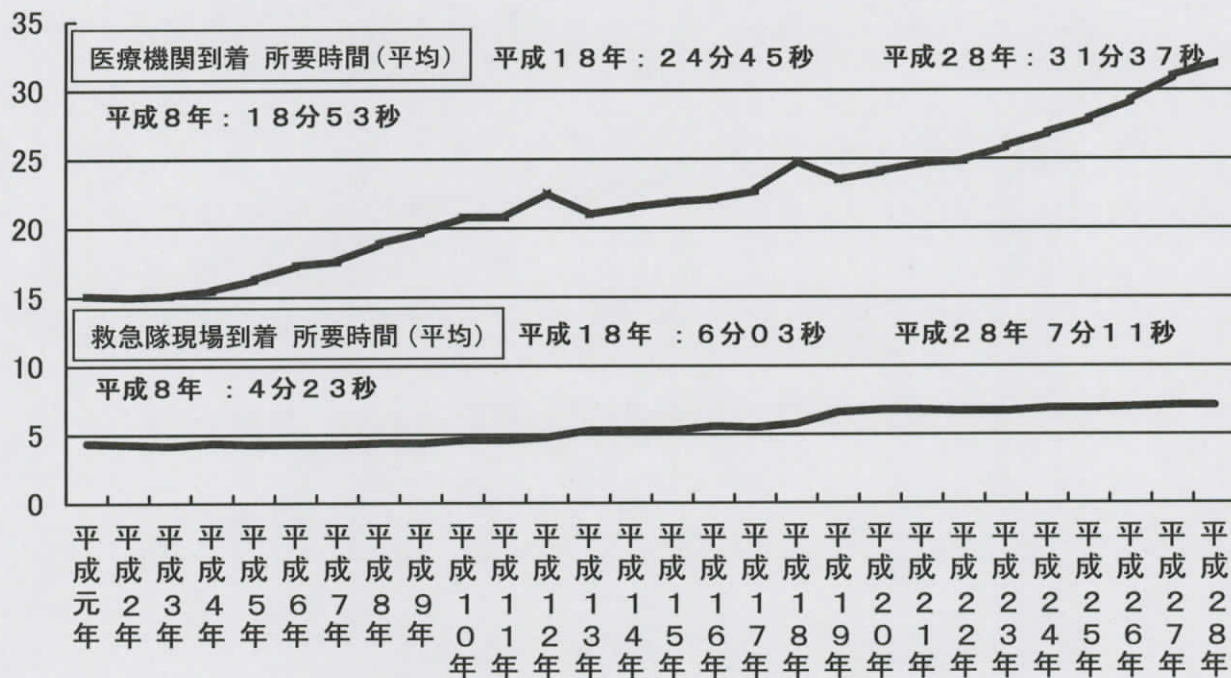
負傷部位別割合

4 救急隊の現場到着時間及び医療機関収容時間

平成28年中の平均救急隊現場到着時間は、7分11秒と昨年と比べ1秒遅くなっています。

また、平均医療機関収容時間が、昨年より1分29秒遅れ31分37秒となっています。

なお、10年前（平成18年）と比べると、救急隊現場到着平均時間は、1分08秒、平均医療機関収容時間は、6分52秒遅くなっています。



5 医療機関の受入れ状況

一人の傷病者に対して、搬送医療機関を問い合わせ(交渉)する回数の平成28年中の平均は、1.38回となっています。この数字だけをみると直ぐに搬送医療機関が決定しているように思いますが、事例により14回も問い合わせを行うこともあります。

ただ、重症以上に限ると1.11回と比較的スムーズな受け入れとなっています。

問合回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	13	14	計
軽症	8495	1782	722	331	138	45	36	9	7	2	1		1	11569
中等症	4393	466	152	69	35	13	7	3		1		1		5140
重症	805	57	13	6	1			1	1					884
死亡	235	11	1	1										248
その他	6	1	3											10
計	13934	2317	891	407	174	58	43	13	8	3	1	1	1	17851

6 救急隊の処置

病院前救護をより一層強化し、救命率の向上や後遺症の軽減を図ることを目的に、救急救命士の処置範囲が拡大され、

心肺停止前の重度傷病者に対する

①血糖測定と低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与

②静脈路確保と輸液（いわゆるショックの状態の方）

の2項目について、当局では、平成26年8月1日から運用を開始しました。

平成28年中、上記①の血糖測定は105件、低血糖の方へのブドウ糖を投与は32件で、上記②の静脈路確保と輸液は、24件でした。

上記①のブドウ糖を投与した32件のうち、30件で意識状態の改善、上記②の輸液を実施した24件のうち、9件において血圧の上昇や意識状態の改善が認められました。

7 普及講習

平成28年に実施した普及講習は、251回で受講者数は、7,438人でした。

このうち、救命講習（3時間以上の講習）受講者は、2,773人でした。当市では、平成8年から開始した救命講習の延べ受講者は、約58,000人、和歌山市民約6人に一人の割合で受講したことになります。

また、応急手当普及員講習・再講習は、4回112人の受講者でした。

8 救命率

平成28年に心肺停止の状態で搬送した傷病者は404人で、心肺停止の原因が、心原性（心臓に原因がある）の方は177人、このうち、市民（家族・同僚等）の目撃（倒れるのを見た、音がしたので振り返ったら倒れていた等）がある方は68人でした。

さらに、この68人のうち、市民による応急手当が実施された方（33人）の社会復帰（倒れる前の状態に復帰）は5人で、社会復帰率にすると15.1%で、全国平均（11.7%：平成27年）より高くなっています。

9 救急ワークステーション

日本赤十字社和歌山医療センター高度救命救急センターの協力を得て、救急ワークステーションの運用を実施しています。（平成26年6月から）

平成28年中のドクターカー運用については、平日・日勤帯（9時から17時30分）での、派遣型・ピックアップ型の運用で、合計34件の出動がありました。34件の内訳は、急病28件、労働災害3件、自損2件、一般負傷1件となっています。

また、ドクターカーとして活動したのは29件でした。活動した現場から搬送された29人の傷病者のうち、重症以上は8人、中等症12人、軽症9人でした。

ドクターカー運用については、入電（119番通報）段階で、通常救急隊とともにドクターカーを出動させることを容易にするため、ある言葉に合致した場合に出動させる方法（キーワード方式）で実施しています。

<平成28年ドクターカー出動・要請基準>

- 1 40歳以上でおおむね10分以上続く胸痛・背部痛の場合
- 2 重度の呼吸不全・循環不全を疑う場合
- 3 多数傷病者の発生を疑う場合
- 4 重症外傷を疑う場合
- 5 指令課員が、切迫した通報と判断した場合
- 6 現場へ到着した救急救命士がドクターカーを必要と判断した場合

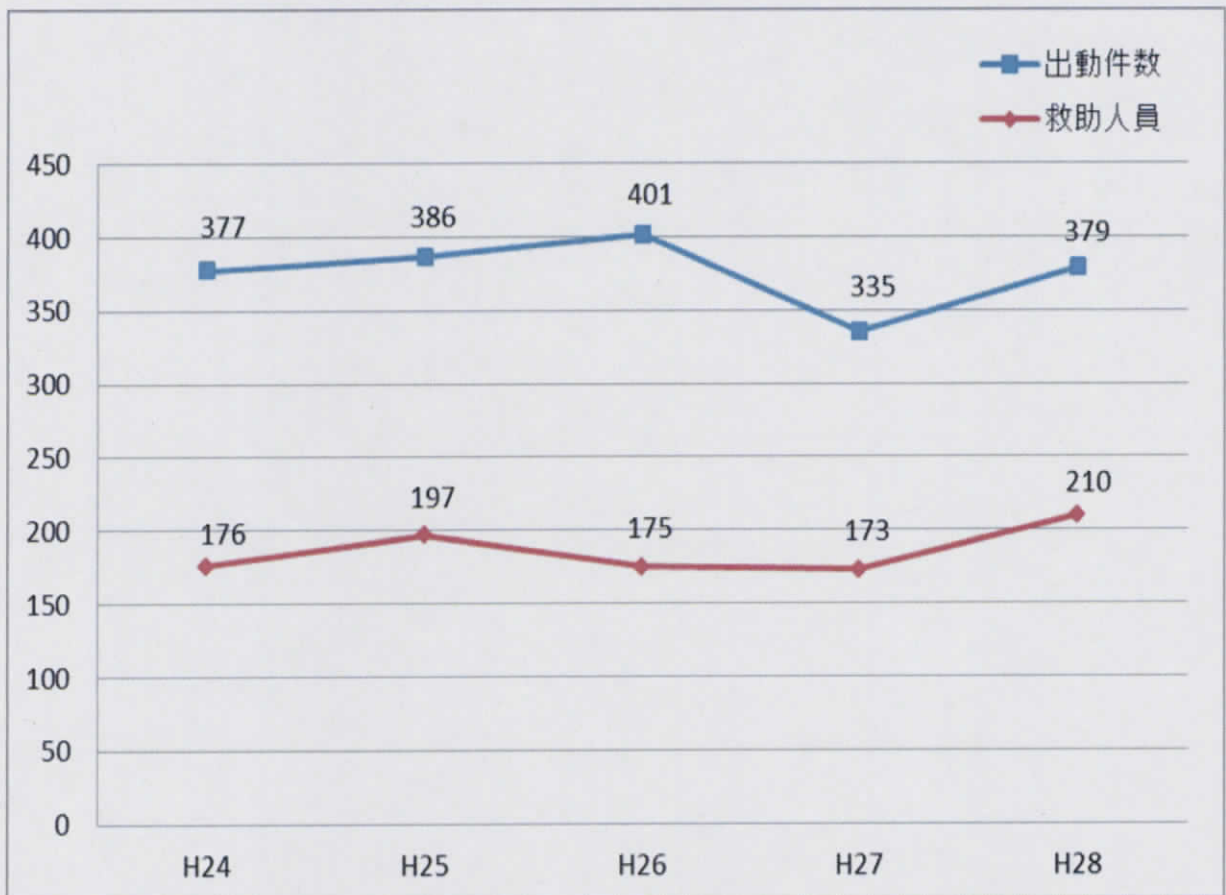
平成28年中の救助出動の概要

1 救助出動件数及び救助人員状況

本市における平成28年中の救助出動件数は379件で、前年と比べ44件増加しました。

救助人員は210人で、前年と比べ37人増加しました。

過去5年間の状況



年別	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
救助出動件数(※1)	377(318)	386(319)	401(335)	335(289)	379(329)
救助人員(※2)	176(169)	197(190)	175(160)	173(165)	210(202)

※1()内は、火災以外の救助出動件数

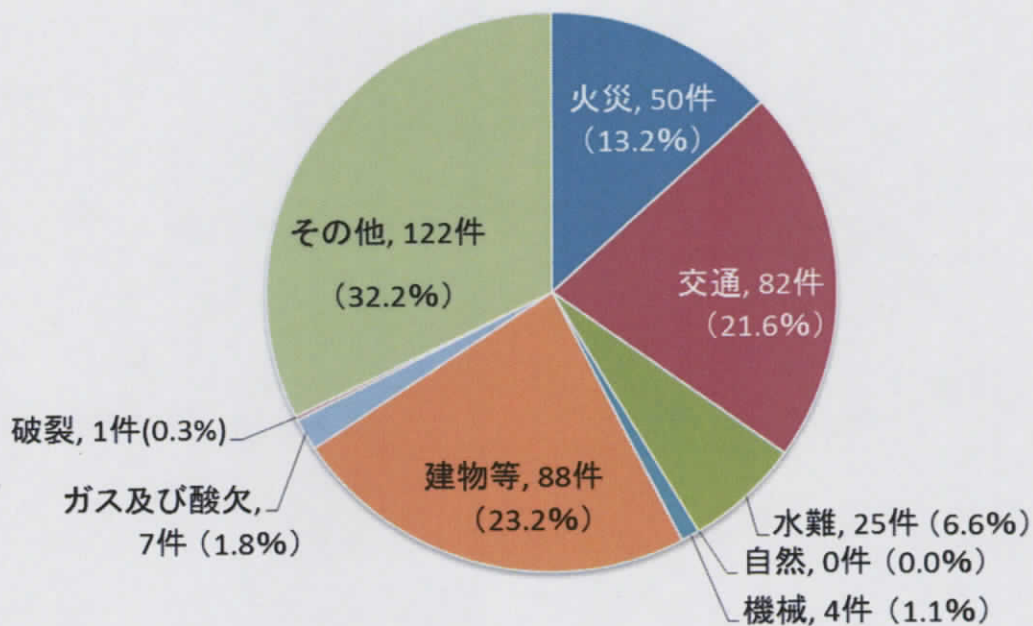
※2()内は、火災以外の救助人員数

2 事故種別ごとの救助出動状況

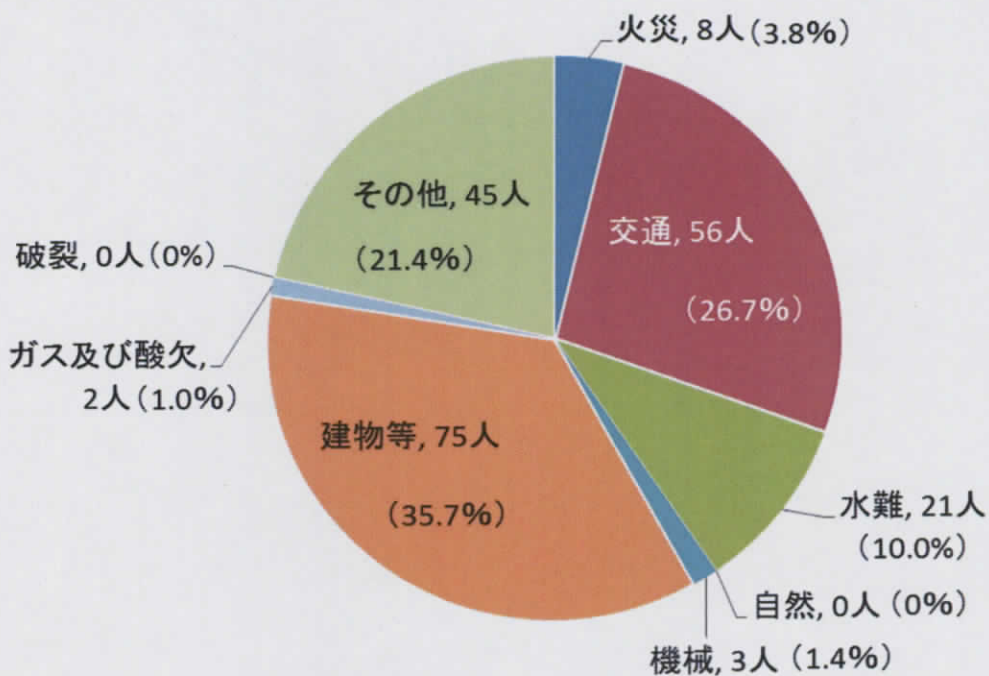
事故種別ごとの救助出動については、火災が50件、火災以外が329件、市域外にも7件出動しました。

事故種別ごとの救助人員については、火災が8人、火災以外が202人、建物等による事故が75人と最も多く、全体の35.7%でした。

(1) 救助出動件数



(2) 救助人員状況



(3) 月別状況

		火災	交通	水難	自然	機械	建物等	ガス及び酸欠	破裂	その他	合計
1月	出動件数	3	6	4			10			4	27
	活動件数	1	2	4			9			2	18
	救助人員	1	3	4			9			2	19
2月	出動件数	4	5	1			7			4	21
	活動件数	1	2	1			6			1	11
	救助人員	2	5	1			6			1	15
3月	出動件数	5	9	2			9			9	34
	活動件数		4	2			8			3	17
	救助人員		4	2			8			3	17
4月	出動件数	6	4	3		1	5	2		12	33
	活動件数	1	1	2		1	4	1		3	13
	救助人員	2	1	2		1	4	1		2	13
5月	出動件数	5	10			1	8	1	1	12	38
	活動件数		8			1	7			5	21
	救助人員		12			1	7			5	25
6月	出動件数	1	4	2			6			9	22
	活動件数		4	2			4			1	11
	救助人員		5	2			4			1	12
7月	出動件数	13	6	2			8	2		13	44
	活動件数	4	1	2			7	1		6	21
	救助人員	3	1	2			7	1		7	21
8月	出動件数	4	10	5			8			9	36
	活動件数		5	2			6			2	15
	救助人員		7	2			6			2	17
9月	出動件数	3	5				5			9	22
	活動件数		1				4			4	9
	救助人員		3				4			4	11
10月	出動件数	1	9	2			7			8	27
	活動件数		3	1			6			5	15
	救助人員		3	1			6			5	15
11月	出動件数	3	7	3		1	4			16	34
	活動件数		5	2			3			6	16
	救助人員		8	2			3			8	21
12月	出動件数	2	7	1		1	11	2		17	41
	活動件数		4	1		1	11			5	22
	救助人員		4	3		1	11			5	24
合計	出動件数	50	82	25	0	4	88	7	1	122	379
	活動件数	7	40	19	0	3	75	2	0	43	189
	救助人員	8	56	21	0	3	75	2	0	45	210
出動人員(※1)		1,482	1,317	512	0	62	1,243	97	23	2,054	6,790
出動車両台数(※2)		396	368	141	0	18	338	26	7	561	1,855

※1 各事故種別ごとに出動した人員の総数

※2 各事故種別ごとに出動した車両の総数

(4) 覚知時刻別出動件数

	火災	交通	水難	自然	機械	建物等	ガス及び酸欠	破裂	その他	合計
00 ~ 01	1	3				1			3	8
01 ~ 02	2	2							2	6
02 ~ 03	0	2	1			1			2	6
03 ~ 04	3	3	2						1	9
04 ~ 05	1	2							2	5
05 ~ 06	1	3	2			2			2	10
06 ~ 07	1	3	1			2			4	11
07 ~ 08	3	1				2	1			7
08 ~ 09	3	9	1			2	1		2	18
09 ~ 10	1	5	1		1	7	1		7	23
10 ~ 11	3	1				5			7	16
11 ~ 12	1	7	1			5		1	10	25
12 ~ 13	2	6			1	5			3	17
13 ~ 14	6	4	6			5			9	30
14 ~ 15	4	2	3		1	9	2		7	28
15 ~ 16	1	4	1			10	1		11	28
16 ~ 17	1	4	2			6			4	17
17 ~ 18	1	11	1		1	6			10	30
18 ~ 19	2	1	1			2			13	19
19 ~ 20	1		1			7			6	15
20 ~ 21	4	1				4			5	14
21 ~ 22	2	3	1			3			2	11
22 ~ 23	4	2				3	1		6	16
23 ~ 24	2	3				1			4	10
合計	50	82	25	0	4	88	7	1	122	379

(5) 発生場所別救助事故状況

	火災	交通	水難	自然	機械	建物等	ガス及び酸欠	破裂	その他	合計
屋内	住居	26				83	4		42	155
	他屋内	14			3	4	1	1	17	40
道路	高速道路		9							9
	他道路		62				1		4	67
水面	内水面			12					5	17
	外水面			12					2	14
山岳									2	2
その他の屋外	10	11			1	1	1		43	67
地下										0
その他			1						7	8
合計	50	82	25	0	4	88	7	1	122	379

(6) 救助人員の傷病程度状況

	火災	交通	水難	自然	機械	建物等	ガス及び酸欠	破裂	その他	合計
死亡	1	1	10			17	2		5	36
重症	2	6	2			5			3	18
中等症	1	10	3			22			3	39
軽症	4	37	4		2	17			17	81
その他		2			1	6			8	17
不搬送			2			8			9	19
合計	8	56	21	0	3	75	2	0	45	210

3 方面別・地区別救助事故発生状況

方面別	地区別	出動件数		方面別	地区別	出動件数	
第1方面	本町	11	(10)	第3方面	宮	14	(13)
	城北	10	(9)		四箇郷	12	(10)
	広瀬	7	(5)		西和佐	12	(10)
	雄湊	9	(9)		和佐	6	(6)
	大新	10	(8)		小倉	7	(5)
	新南	10	(9)		岡崎	8	(6)
	吹上	3	(2)		東山東	1	(1)
	砂山	9	(8)		西山東	6	(4)
	宮北	9	(8)		小計	66	(55)
	中之島	9	(8)		第5方面	湊	5
芦原	5	(5)	野崎	21		(17)	
今福	7	(5)	松江	10		(7)	
小計	99	(86)	木本	9		(7)	
第2方面	高松	4	(3)	貴志		16	(14)
	雑賀	6	(5)	西脇		8	(8)
	雑賀崎	3	(2)	加太	16	(16)	
	和歌浦	12	(9)	小計	85	(73)	
	宮前	14	(13)	第6方面	楠見	15	(13)
	三田	5	(3)		有功	14	(14)
	名草	17	(16)		直川	5	(5)
	安原	10	(9)		川永	5	(4)
田野	1	(1)	紀伊		6	(6)	
小計	72	(61)	山口		5	(5)	
出動件数合計		379 (329)		市域外		50	(47)
						7	(7)

※()内は、火災以外の出動件数

4 市域外における救助出動状況

事故種別	出動件数	救助人員	延べ出動人員	延べ出動車両
交通	7件	4人	119人	34台

5 高速道路における救助出動状況

事故種別	出動件数	救助人員	延べ出動人員	延べ出動車両
交通	9件	7人	162人	46台

6 救助訓練実施状況

※全小隊の実施状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
体力及び 基礎練成	507	464	472	466	497	493	487	484	490	497	492	473
	2,309	2,019	2,078	2,073	2,227	2,224	2,159	2,161	2,200	2,219	2,202	2,132
	718	650	650	632	694	700	678	701	713	700	699	665
ロープ 結索法 訓練	6	7	11	5	12	16	2	7	8	10	18	12
	25	35	47	23	55	68	8	30	33	42	77	55
	15	17	22	10	26	32	6	12	14	17	39	26
救助訓練	58	96	149	145	138	92	82	84	68	110	100	84
	296	434	699	721	664	379	337	356	305	493	454	398
	164	269	421	400	381	245	190	208	160	268	260	235

※上段:実施回数、中段:実施延べ人員、下段:実施延べ時間